

「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」 農林水産部で中期（1年）で実現すること



復興を実感

【農林漁業者の方々】

- 安心して生産・出荷できる
- しっかり販売できる
- 効率的に生産できる

【消費者の方々】

- 安心して購入できる
- おいしい県産農林水産物で豊かな食生活を楽しめる

風評の払拭

実現のために必要なこと

- 生産の基盤が整う
- 担い手が確保される
- 生産物の安全が確保される
- 売り先が確保される
- 環境に配慮した農業がひろがる
- 先端技術の導入により効率化が進む
- 農村環境が保全される

令和3年度の主な取組

①東日本大震災・原子力災害からの復興

○営農再開等復興の加速化

- ・生産施設等の整備（7市町村 17箇所）
- ・ほ場整備（2市 86ha ※津波被災）
- ・避難地域等の農地集積促進（コーディネーター 12人配置）
- ・「高付加価値産地構想」の実現に向けた体制整備
- ・森林整備と放射性物質対策の一体的な実施（2,072ha）
- ・広葉樹林の再生（63ha）
- ・共同利用漁船の復旧（6隻）

②持続的な発展を支える強固な基盤の確保

○担い手の確保・生産基盤の強化

- ・担い手への農地集積の促進（62,244ha(R元)⇒68,900ha）
- ・収入保険（農業）の加入促進（2,676経営体⇒3,000経営体）
- ・ほ場整備率（73.2%⇒73.6%）
- ・林業アカデミーふくしま 短期研修の開講

③安全で魅力的な農林水産物の供給

○安全安心の確保・戦略的な生産活動の展開

- ・第三者認証GAP取得拡大（680経営体⇒800経営体）
- ・有機農業の拡大（180ha⇒250ha）
- ・「福、笑い」本格デビュー（25ha 130 t）
- ・スマート農業の取組拡大（525経営体⇒670経営体）
- ・福島牛ブランド力強化に向けたAI肉質診断（1,000頭）
- ・県内産ヒラメの種苗放流（100万尾）
- ・県産水産物販売コーナーの拡大（新規10店舗以上）

④活力と魅力ある農山漁村の実現

○農山漁村の活性化

- ・多面的機能支払事業による農地の保全管理（66,976ha）
- ・地域外との交流による地域保全活動（3地区）
- ・地域ぐるみでの総合的な鳥獣被害対策（モデル14地区）
- ・農業用ため池ハザードマップ作成（210箇所増加）

災害への対応

○令和3年福島県沖を震源とする地震

- ・水路・農道等、被災施設等の災害復旧
- ・資材購入補助など令和3年度作付けに向けた支援

○令和3年4月の凍霜害

- ・きめ細かな技術支援の継続
- ・樹勢回復や新たな防霜対策に向けた支援策の実施

A L P S 処理水の処分にに関する基本方針決定を受けた対応

- 新たな風評や、水産業への影響の懸念への対応 【国が責任を持って以下の対策を講じるよう、強く求めていく】
 - ・漁業者等への丁寧な説明
 - ・正確な情報発信と、新たな風評を生じさせない対策の徹底
 - ・生産から流通・消費まで水産業全体を捉えた強力な対策